

11月定例 Web 会議（11月14日）議事録

1. 9月の事故報告 ·····付紙

9月事故状況は4社の状況を整理した。トータルとして6年度平均以下で推移するが、昨年度8、9月は低減したが、本年度は低減しなかった。昨年度は11月から年末にかけて増加傾向にあるので、引き続き注意が必要である。細部分析は、次回定例会議で実施予定。

2. 警視庁・SDA共催第22回安全運転競技会の成果及びレビュー···付紙

SDA会員 5社10チーム、40名が参加、終日雨天の悪天候の中、選手の白熱した競技もと無事に競技を実施できた。

各走行競技は採点基準を事前に徹底して安全な競技を実施した。各人へは今後の自己研鑽の資として走行成果を配布した。

3. 7年度SDA自転車講習会 ·····付紙

蒲田自転車実技講習会（参加32名）、荒川自然公園自転車実技講習会（参加33名）の状況について報告

4. 連絡調整事項

(1) 今後の実技講習 11月27日（木）保土ヶ谷実技講習への参加募集

(2) 今後の会議予定 12月 3日（水） 12月定例会議及び忘年会の参加募集
1月16日（金） 1月定例会議

「特定原付座学講習」（警視庁モビリティ戦略係）を予定

8年度総会は、 6月 5日（金）予定

5. 三塚顧問アドバイス

(1) 2025年11月12日現在の交通事故による全国死者数は2,099人で、前年度比で133人減少。

ワースト1位は、東京都117人、ワースト2位 神奈川県111人、ワースト3位 北海道109人、以下4位千葉、5位大阪、6位埼玉、7位愛知、8位兵庫、9位福岡、10位茨城。この中で前年度比で神奈川18人増、北海道20人増と増加しており、特に注意が必要。

統計上、2024年の年間死者数は、2,663人、1日平均7.3人（最多日の人数26人）であった。

(2) 特異事項として2020～2024年の5年平均で、1月～9月の月平均死者数は209人にあるのに比べ10月～12月の月平均死者数は269人と1.29倍である。

こうしたことから、10月定例会議で話した以下の注意事項は11月以降も引き続き徹底して欲しい。

(3) 注意すべき事項

① 薄暮時間帯の歩行者、自転車に注意

特に65歳以上高齢者の歩行者と自転車事故が多いので注意のこと。

また、高齢者は自分勝手で横断歩道でない所も急に飛び出してくるので見かけたら十分な注意が必要。

② 横断歩道付近の人影に注意し減速・停止の徹底

横断歩道上の横断中の歩行者がいたら必ず停止、横断歩道入口で渡ろうしている人がいた時も必ず停止することを注意して欲しい。横断歩道上の人とのすり抜けは、歩行者妨害になるので注意のこと。

③ ハイビーム活用

ハイビームは、夕方には点灯して活用して欲しい。

基本はハイビーム走行であり、対向車が眩しそうな場合は、減光して走行することを繰り返して欲しい。

(4) なお、2024年JAF調査による横断歩道で自動車の停止率の高い県は、1位は長野県で87%（9年連続No.1）。一方、ワースト1位 富山県31.6%、ワースト2位 茨城県35.2%、ワースト3位 東京都 38.7%。

横断歩道に差し掛かったら、歩行者保護が第一で横断歩道は通してあげることを先ず念頭とすることで注意して欲しい。

以上